

連携協働通信「架け橋」

令和3年12月23日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 22

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課のWebサイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiikirenkei/gakkoushien.html>

えっ!?! チャンスはあと3回?

学校運営協議会の未設置校におかれましては、設置へ向けたご準備にお取り組みいただきどうもありがとうございます。

夏休みを中心に実施した個別相談から引き続き、その後も設置に向けた問い合わせを多くいただいております。

未設置校の校長先生方とお話をしている中で、具体的に**設置のチャンスがあと3回**ということを改めて認識されるケースも見られます。

設置へ向けての疑問・質問は些細なことでも結構ですので遠慮なくおたずねください。

学校運営協議会 設置の機会			
設置日	令和4年4月1日	令和4年7月1日	令和4年10月1日
申請書提出の締切日	令和4年2月1日	令和4年5月1日	令和4年8月1日
備考	申請数が多いと予想されます。申請書の準備が整い次第、締切を待たず早めにご提出ください。	5月1日は連休中の日曜日にあたるため、連休明けまでにご提出ください。	8月1日までにご提出ください。学校閉庁期間中に申請書の内容確認を行います。

ご質問、ご相談はいつでもご連絡ください。

学校支援・地域連携課 671-3278

ご準備いかがですか？あと1回のみです。

学校運営協議会の設置と同様、令和4年度末の全校設置に向けて、地域学校協働本部の設置のご準備もお取り組みいただきありがとうございます。

地域学校協働本部の設置には、学校・地域コーディネーターを配置することが必要となります。学校・地域コーディネーターの配置には、校長先生から推薦を受けた方が養成講座を受講しなくてはなりません。**そのチャンスはあと1回限り、令和4年度の受講のみです。**

受講者の推薦は、年度明けの4月にご案内をいたします。

※ なお、学校・地域コーディネーター養成講座は、令和5年度以降も引き続き行います。

<p>地域学校協働本部とは？</p>	<p>既存の地域と学校の連携体制をもとにして、学校・地域コーディネーターが中心となって地域学校協働活動を推進する体制です。 学校・地域コーディネーターが配置されている学校には、地域学校協働本部が設置されていると考えています。</p>
<p>学校・地域コーディネーターとは？</p>	<p>地域と学校の架け橋となる方です。 PTA役員を経験された方や、ボランティア活動をされている方などに務めていただくケースが多いです。 学校・地域コーディネーターとなるためには、養成講座を受講していただくことが必要です。</p>

学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となって横浜の子どもを育てます



養成講座、対面開催

学校・地域コーディネーター養成講座の第4回目は、方面毎に4日間に分け、対面して実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の予定から1ヶ月半ほど遅らせての開催でした。第3回目は、eラーニング形式としたため、受講者にとって久しぶりの顔を会わせる機会となりました。

グループワークでは、各々が架空の人物になり切って、その人たちにできる地域学校協働活動の企画作りをしました。充実した活動を実現するためには、様々な立場の人が関わるが必要になること、そのために、コーディネーターがどのように動いていけばよいのか、企画作りを通して分かりました。



講師からグループワークで、架空の人物になり切ることの説明を受けました。



架空の人物になり切って、楽しい企画を考えました。



最後に、企画をほんの少し紹介しました。発表は次回の講座の時にいきます。

参加者の声

- ・いつも講座が始まる時には戸惑う講座ですが、終わる時には楽しくなります。
- ・グループワークでは、時間が足りなくなるほど、意見や案がでて盛り上がりました。とてもためになりました。
- ・地域と学校をつなぐ、学校の要望をくみとって活動するには、地域の方や地域のことをより良く知っていないといけないと思いました。
- ・コーディネーターとして何ができるのか、地域や学校とどんなかわり方ができるのかを考えるきっかけとなりました。

合同研修も、対面開催

学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター、教職員が参加する合同研修も、対面で行いました。花咲研修室には、3日間で合計220人が集まりました。

11月15日は東鴨居中学校ブロック、12月7日はいずみ野中学校、12月13日は上郷中学校ブロックの3校の取組を、校長先生方を講師にお迎えし、発表していただきました。



東鴨居中学校ブロック 鴨居小学校 立花校長(左)、東鴨居中学校 和気校長(右)

地域の力は大きい。職員が地域の存在の大きさを知ることで、地域学校協働活動が組織的になる。



いずみ野中学校 川村校長

ニーズがあるから支援がある。
ニーズがなければおせっかいになる。



上郷中学校ブロック 上郷中学校 小佐野校長(左) 上郷中学校 木村教諭(右)

学校運営協議会の存在によって、まち全体が一つになることが最大の目的。

参加者の声

- ・実際に集まって行われる研修で話が聞けると、伝わってくるものが違うと感じました。
- ・学校との連携を図るためにも、校長先生や副校長先生と連絡を取る必要を感じました。帰ったら早速連絡してみます。

3校の発表は、ホームページでご覧いただくことができます。

学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター

横浜市 学校・地域連携推進

検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiiikirenkei/gakkoushien.html>

教職員

YCAN トップ→教育委員会事務局→学校支援・地域連携課

<http://inw1.office.ycan/b/ky/gakkoushien/>